

広島県経済の動向

令和6年4月15日
商工労働局

目 次

I	経済動向の概要	1
1	国内経済の動向	
2	広島県経済の動向	
II	県内主要製造業の生産動向	3
1	鉄鋼	
2	自動車	
3	造船	
4	一般機械	
5	電気機械	
III	中小企業の動向	5
1	概況	
2	景況感・景況感の変化	
3	前月から変化のあった主な業種	
IV	企業倒産状況	7
1	概況	
2	業種別	
3	原因別	
4	今後の見通し	
V	最近の雇用失業情勢	8
1	県内の有効求人・求職の動向	
2	県内の新規求人・求職の動向	
3	県内の人員整理の状況	
4	完全失業率の状況(全国・県内)	

(注)「広島県経済の動向」は、国、その他機関等から発表される各種指標を編集、加工し、とりまとめたものです。

I 経済動向の概要

1 国内経済の動向

(1) 概要

指 標	R6年		
	1月	2月	3月
基調判断	景気は、このところ一部に足踏みもみられるが、緩やかに回復している	景気は、このところ足踏みもみられるが、緩やかに回復している	
輸 出	このところ持ち直しの動きに足踏みがみられる		持ち直しの動きに足踏みがみられる
生 産	持ち直しの兆しがみられる	持ち直しに向かっていたものの、一部自動車メーカーの生産・出荷停止の影響により、このところ生産活動が低下している	
設備投資	持ち直しに足踏みがみられる		持ち直しの動きがみられる
雇用情勢	改善の動きがみられる		
個人消費	持ち直している	持ち直しに足踏みがみられる	
住宅建設	弱含んでいる		
企業収益	総じてみれば改善している		

(2) 先行き

先行きについては、雇用・所得環境が改善する下で、各種政策の効果もあって、緩やかな回復が続くことが期待される。ただし、世界的な金融引締めに伴う影響や中国経済の先行き懸念など、海外景気の下振れが我が国の景気を下押しするリスクとなっている。また、物価上昇、中東地域をめぐる情勢、金融資本市場の変動等の影響に十分注意する必要がある。さらに、令和6年能登半島地震の経済に与える影響に十分留意する必要がある。

【内閣府「月例経済報告」（令和6年3月22日公表）】

2 広島県経済の動向

(1) 概要

指 標	R5年	R6年	
	12月	2月	3月
基調判断	緩やかに回復している		緩やかな回復基調にある
輸 出	供給制約の影響が和らぐもとで、持ち直し基調にある		横ばい圏内の動きとなっている
生 産	緩やかながら持ち直し基調にある		横ばい圏内の動きとなっている
設備投資	増加している		
雇用情勢	全体として緩やかに改善している		
個人消費	緩やかに回復している		
住宅投資	横ばい圏内で推移している	弱めの動きとなっている	

(2) 県内の経済の先行き

先行きの景気は、緩やかな回復が続くことが期待されるが、海外経済の動向や物価動向などが県内の経済金融情勢および回復のペースに与える影響を一層注視していく必要がある。

【日本銀行広島支店「広島県の金融経済月報」（令和6年4月1日公表）】

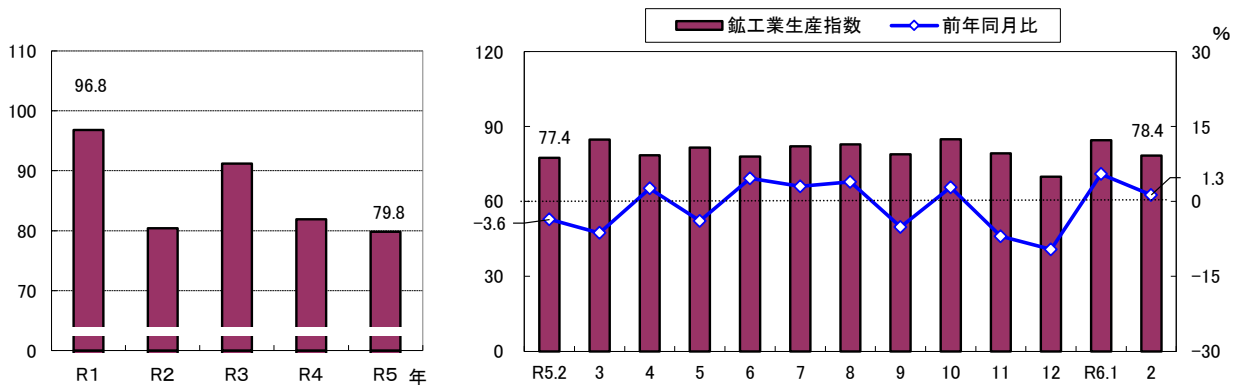
II 県内主要製造業の生産動向

1 鉄鋼(令和6年2月)

2月の鉱工業生産指数(鉄鋼業、原指数、速報値、平成27年=100)は78.4で、前年同月比で1.3%増加となっている。

鉱工業生産指数(鉄鋼業)(年別、月別・前年同月比)

【県統計課】

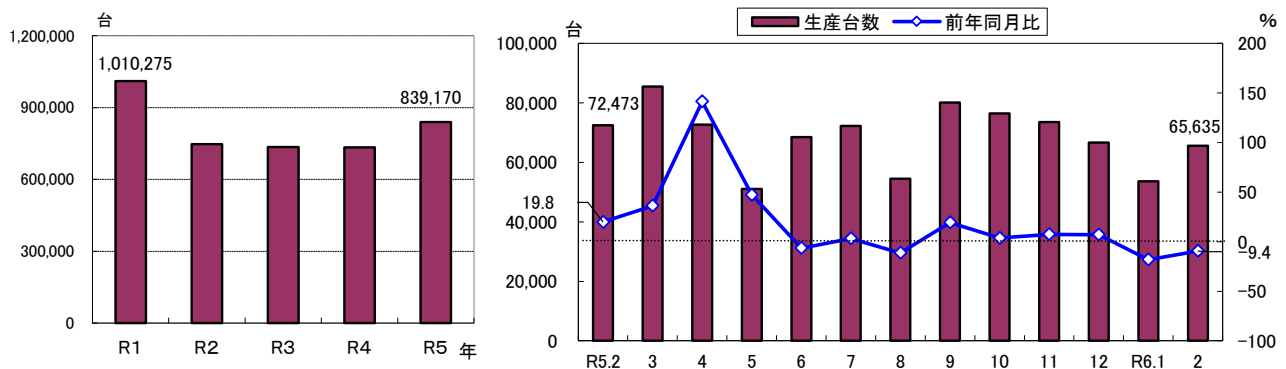


2 自動車(令和6年2月)

2月の国内生産台数は65,635台で、前年同月比で9.4%減少となっている。

自動車生産台数(年別、月別・前年同月比)

【マツダ(株)】

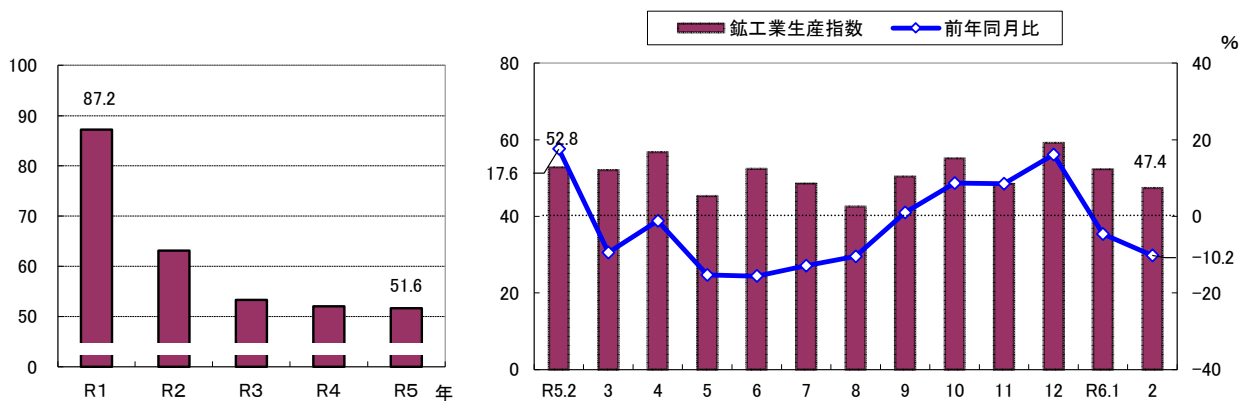


3 造船(令和6年2月)

2月の鉱工業生産指数(造船部門、原指数、速報値、平成27年=100)は47.4で、前年同月比で10.2%減少となっている。

鉱工業生産指数(造船部門)(年別、月別・前年同月比)

【県統計課】

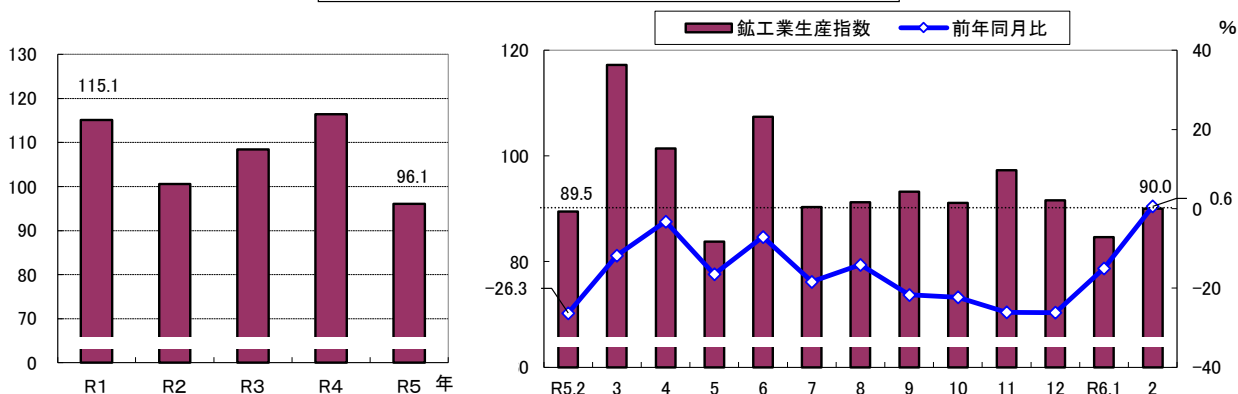


4 一般機械(令和6年2月)

2月の鉱工業生産指数(一般機械工業(総合)、原指数、速報値、平成27年=100)は90.0で、前年同月比で0.6%増加となっている。

鉱工業生産指数(一般機械(総合))(年別、月別・前年同月比)

【県統計課】

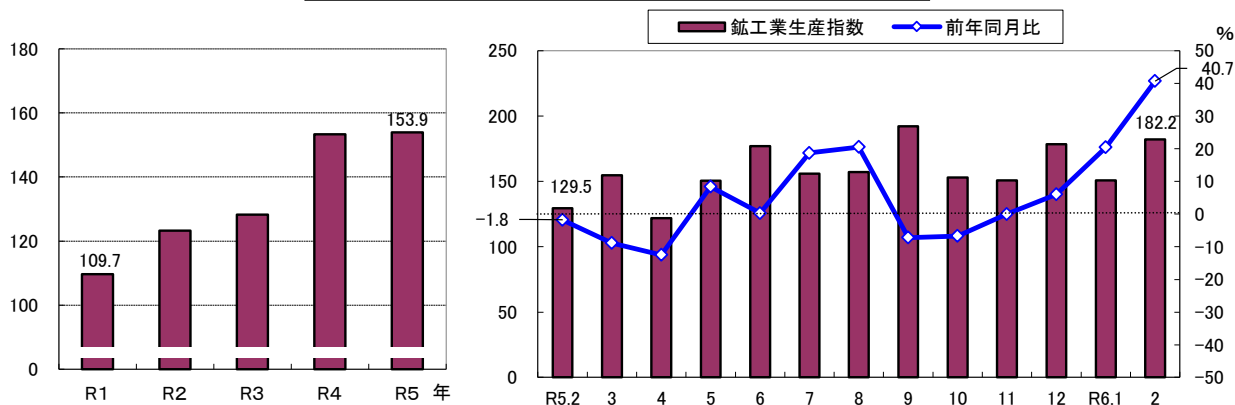


5 電気機械(令和6年2月)

2月の鉱工業生産指数(電気機械工業(総合)、原指数、速報値、平成27年=100)は182.2で、前年同月比40.7%増加となっている。

鉱工業生産指数(電気機械工業(総合))(年別、月別・前年同月比)

【県統計課】



Ⅲ 中小企業の動向(令和6年2月)

【広島県中小企業団体中央会（令和6年3月13日時点）】

1 概況

前月は全体的に景況感が悪化傾向にあったが、当月は一部の業界で売上等が上昇するなど回復傾向が見られた。しかし、次月以降の景況感の見通しを明るいと感じている事業者は少なく、依然として人手不足が続く中で、原材料費、光熱費、燃料費、人件費などのコストアップが中小企業の経営環境を圧迫していることが大きなマイナス要因となっており、今後も動向を注視していく必要がある。

自動車関連業種では、2月の国内自動車販売台数は前年同月比▲19.2%と2ヶ月連続で減少。マツダ車は▲25.8%と減少した。

また、木材業界では、2月の新設住宅着工戸数は59,162戸で前年同月比▲8.2%。県内の2月の着工戸数は1,150戸で、前年同月比▲30.9%となった。

※マツダ車に関する記載はマツダ（株）が発表する「2月の生産・販売状況について（速報）」に基づく

※木材業界に関する記載は、国土交通省が公表する「建築着工統計調査報告」及び広島県がホームページに掲載する「新設住宅着工戸数」の2月分のデータに基づく

2 景況感・景況感の変化

業種	1月の景況感	2月の景況感
食料品	やや悪い	やや悪い
繊維・衣服	やや悪い	やや悪い
木材	悪い	悪い
家具	やや悪い	やや悪い
印刷	普通	普通
化学	普通	普通
プラスチック製品	やや悪い	普通
土石製品	悪い	悪い
鉄鋼(鋳物)	やや悪い	普通
金属製品	普通	普通

業種	1月の景況感	2月の景況感
一般機械器具	普通	普通
電気機械器具	やや悪い	やや悪い
自動車部品	普通	普通
造船	普通	普通
建設	やや悪い	やや悪い
トラック輸送	やや悪い	普通
内航海運	やや悪い	やや悪い
卸売	普通	やや悪い
小売	やや悪い	やや悪い
情報サービス	普通	普通

(単位：業種)

景況感	1月	2月	増減
好況	0	0	0
やや好況	0	0	0
普通	8	10	2
やや悪い	10	8	▲2
悪い	2	2	0

3 前月(1月)から変化のあった主な業種

業種	1月の景況感	2月の景況感	変化の理由・状況
プラスチック製品	やや悪い	普通	<ul style="list-style-type: none"> ・自動車関係は低調を推移しており、その他は横ばい傾向にある。 ・円安の影響やエネルギー価格、原材料価格高騰による影響が心配である。 <p>【広島県プラスチック工業会】</p>
鉄鋼(鋳物)	やや悪い	普通	<p>人手不足と購入品の価格上昇が大きな問題になっている。経営者の意識改革も必要で、「ダイバーシティ経営」への転換も今後の課題と思われる。</p> <p>【軀鉄鋼協同組合連合会】</p>
トラック輸送	やや悪い	普通	<ul style="list-style-type: none"> ・2月の売上高は前月比、前年同月比ともに増加となった。 ・軽油価格は原油価格の上昇により値上げとなった。 ・運送件数や運賃が上昇したことにより、収益が回復傾向にある。 <p>【広島東部トラック運送事業協同組合】</p>
卸売	普通	やや悪い	<ul style="list-style-type: none"> ・売上高は徐々に上昇基調にあるが、景況感は横ばいが続いている。コスト高の一番の要因は原材料価格の上昇であるが、人件費上昇と為替変動(円安)も主要要因となっている。採算状況は若干改善してきているが、他業種(製造・小売など)と比べると改善幅は緩やかである。 ・資金繰り面も一時期の厳しさは脱した感はあるが、企業毎に違いがあるため一概に改善したとは言い難い。 <p>【協同組合広島総合卸センター】</p>

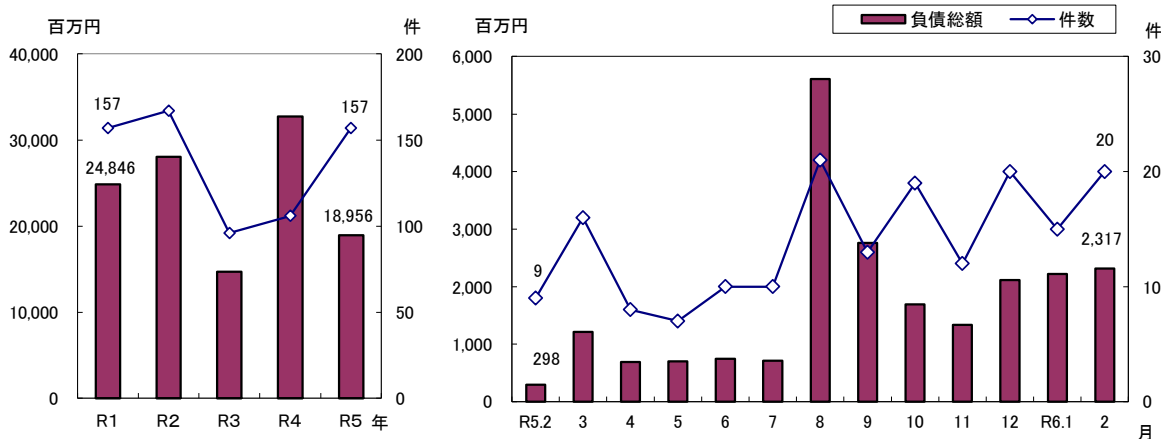
V 企業倒産状況(令和6年2月)

1 概況

- ・負債総額1,000万円以上の倒産は、件数が20件、総額23億1,700万円であった。
- ・前月比で件数は5件増加し、負債総額は9,600万円増加した。
- ・前年同月比では件数は11件増加し、負債総額は20億1,900万円増加した。
- ・大型倒産(負債総額10億円以上)の発生はなかった。

区分	令和5年12月	令和6年1月	令和6年2月
件数 (前年同月比)	20件 (81.8%増)	15件 (25.0%増)	20件 (122.2%増)
負債総額 (前年同月比)	2,115百万円 (20.2%増)	2,221百万円 (107.6%増)	2,317百万円 (677.5%増)

企業倒産件数・負債総額(1,000万円以上)(年別、月別・前年同月比)



2 業種別

件数は、卸・小売・飲食業、サービス業が各5件、製造業、建設業が各4件、運輸・通信業が2件となった。

負債総額では、製造業、建設業、サービス業、卸・小売・飲食業、運輸・通信業の順となった。

3 原因別

原因別では、販売不振が15件、既往のシワ寄せが4件、設備投資過大が1件であった。

4 今後の見通し

コロナ禍以降、依然として倒産件数は増勢傾向にあり、令和5年8月より断続的に倒産件数は20件を超えている中、令和6年2月度の倒産件数は20件で、令和6年では初の20件越えとなった。

業歴別倒産状況では30年以上が9件、20年以上30年未満が1件、10年以上20年未満が5件と業歴10年以上の倒産が全体の75.0%を占め、前月1月度では業歴10年以上の倒産が全体の80.0%と比較的業歴の長い企業の倒産が続いている。

原因別にみると販売不振が15件で最多となり、既往のシワ寄せは4件で、売掛金回収難は無かったが、これらを合計した不況型倒産は19件で全体の95.0%を占めた。

そのような中、新型コロナウイルスを要因とした倒産は2月度20件中9件発生し、これまでの累計は201件(負債総額1,000万円以上かつ弁護士一任・準備中を含む)となり、このうちゼロゼロ融資を利用した企業は4件となっている。

令和5年5月より新型コロナウイルス感染症拡大が5類感染症となり、コロナ禍は収束に向かう一方、依然として続くロシア、ウクライナ侵攻や円安、物価高など企業と一般家庭の負担は重くなっている。

令和6年の傾向として広島県では建設業者の倒産割合が高まっており、実質賃金が伸び悩む中、消費低迷の影響による戸建住宅の建築需要が低下しており、売上不足が進むところに先述の原材料や燃料費、人件費などの負担から破産を余儀なくされるケースが散見される。

建設業や運輸業で時間外労働の上限規制が適用される「2024年問題」は来月に迫っており、既に運送業者との事前打合せを行った企業がいる中、今後打合せを行う場合は値上げ交渉は避けて通れない状況にある。物価上昇に加え円安による輸入品の高騰は各種コストへ大きな影響を与えている。営業環境の厳しさは増す一方であり、企業が生き残っていくためには売上確保に向けた競争力やコストの見直しが必要不可欠であろう。

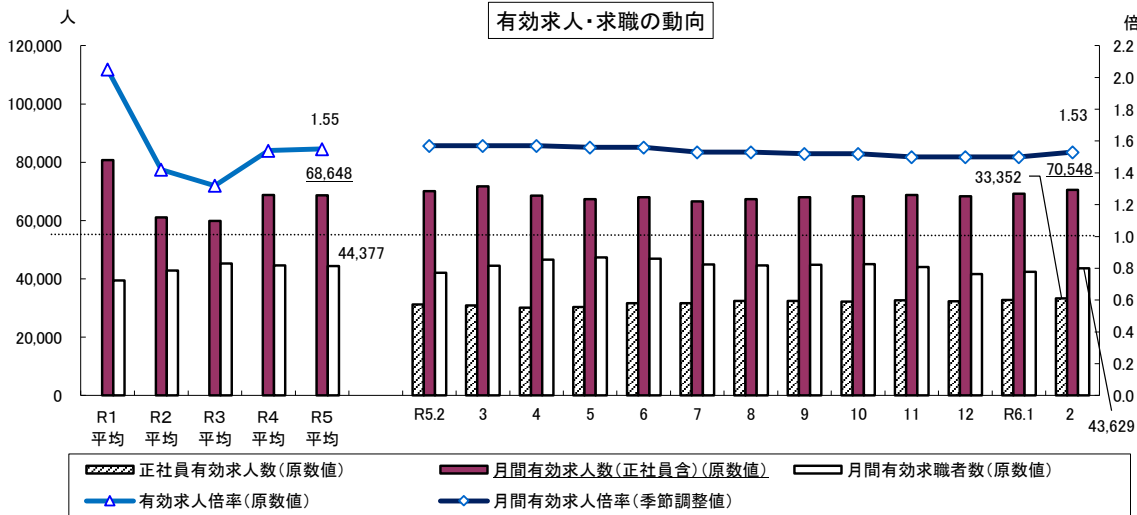
【(株)東京商工リサーチ(令和6年3月5日時点)】

V 最近の雇用失業情勢(令和6年2月)

1 県内の有効求人・求職の動向

区 分	令和5年12月	令和6年1月	令和6年2月
有効求人倍率(季節調整値) (前月比)	1.50倍 (±0.00ポイント)	1.50倍 (±0.00ポイント)	1.53倍 (+0.03ポイント)
正社員有効求人倍率 (前年同月比)	1.31倍 (▲ 0.02ポイント)	1.30倍 (+0.01ポイント)	1.29倍 (+0.05ポイント)

【広島労働局】



(注1) 正社員有効求人倍率は、正社員の有効求人人数をパートタイムを除く常用有効求職者数(派遣労働者や契約社員を希望する者も含む)で除して算出しているため、厳密な意味での正社員有効求人倍率より低い値となる。

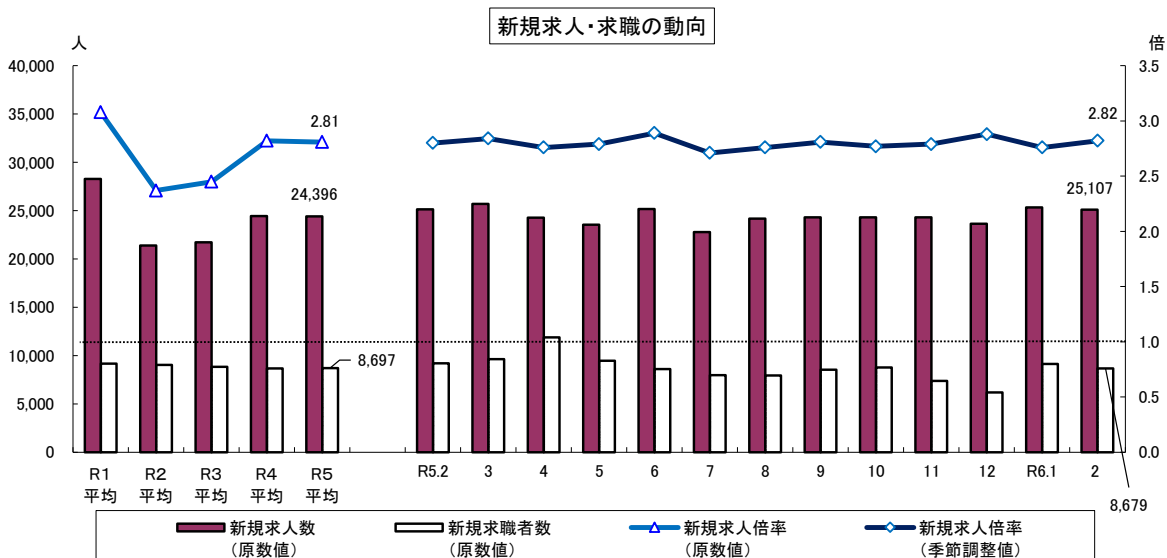
(注2) 正社員有効求人倍率は、季節調整されていない。

(注3) 季節調整値は毎年1月分公表時に過去にさかのぼって改訂される。

2 県内の新規求人・求職の動向

区 分	令和5年12月	令和6年1月	令和6年2月
新規求人倍率(季節調整値) (前月比)	2.88倍 (+0.09ポイント)	2.76倍 (▲ 0.12ポイント)	2.82倍 (+0.06ポイント)

【広島労働局】

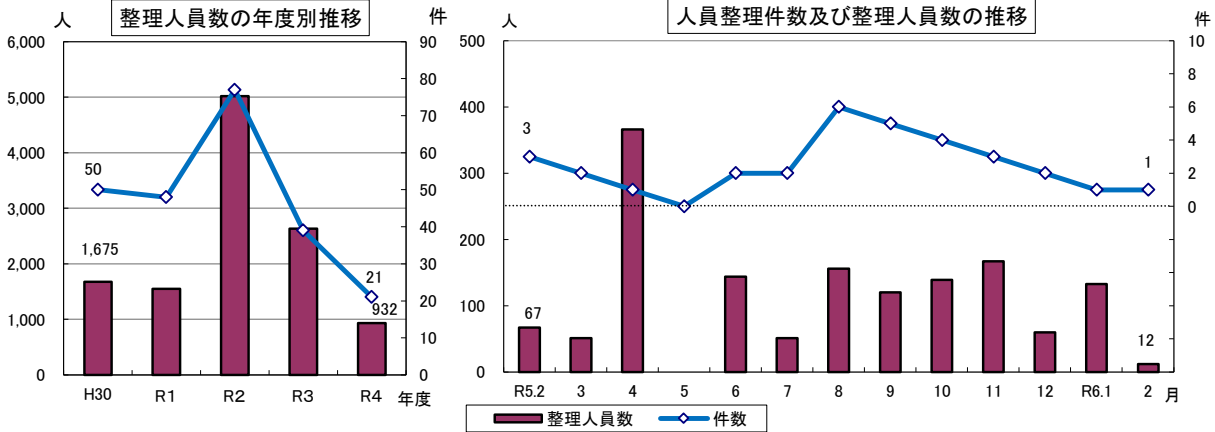


(注) 季節調整値は毎年1月分公表時に過去にさかのぼって改訂される。

3 県内の人員整理の状況(整理人員10人以上)

区 分	令和5年12月	令和6年1月	令和6年2月
件数 (前年同月比)	2件 (± 0件)	1件 (▲ 2件)	1件 (▲ 2件)
整理人員 (前年同月比)	60人 (+ 6人)	133人 (+ 62人)	12人 (▲ 55人)

【広島労働局】

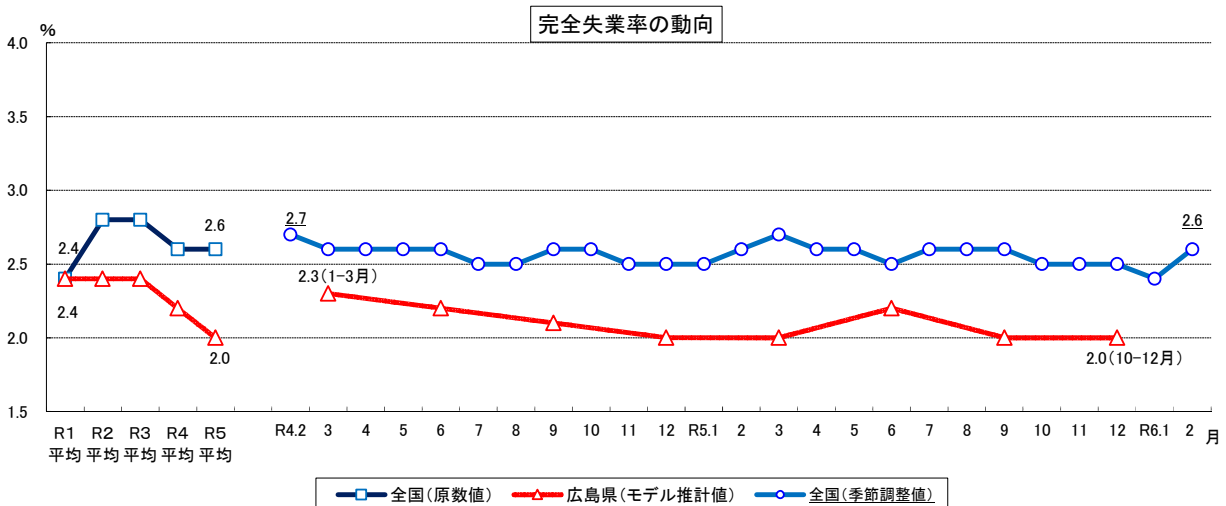


4 完全失業率の状況(全国・県内)

区 分	令和5年12月	令和6年1月	令和6年2月
全国完全失業者数 (前年同月比)	156万人 (▲ 2万人)	163万人 (▲ 1万人)	177万人 (+ 3万人)
全国完全失業率(季節調整値) (前月比)	2.5% (±0.0ポイント)	2.4% (▲ 0.1ポイント)	2.6% (+ 0.2ポイント)

区 分	令和5年		
	4~6月平均	7~9月平均	10~12月平均
広島県完全失業率 (モデル推計値) (前年同期比)	2.2% (±0.0ポイント)	2.0% (▲ 0.1ポイント)	2.0% (±0.0ポイント)

【総務省統計局】



※ 全国完全失業率の季節調整値は毎年1月公表時に過去にさかのぼって改訂される。
 ※ 広島県(モデル推計値)は、毎年1~3月期平均公表時に、新たな結果を追加して再計算を行い、前年までの四半期平均及び年平均結果を過去にさかのぼって一部改定している。